

路線バス確保維持事業について

●概要

路線バス確保維持事業について、業務委託終了後は運行事業者による自主運行を目指しているが、収支状況を鑑みると非常に困難。しかしながら、持続可能な公共交通を目指し、収支改善に向けた検討をする。

●実績

	輸送人員（人）		収入（円）		実車走行		事業者収支 （赤字額）
	月平均	合計	月平均	合計	月平均	合計	
R1 年度 （1～3 月）	7,743	23,230	1,769,514	5,308,541	8,300	24,901	-581,959
R2 年度	6,614	79,363	1,489,830	17,877,961	8,606	103,275	-5,684,039
R3 年度	7,427	89,118	1,673,215	20,078,578	8,592	103,106	-3,483,422
R4 年度	7,549	90,585	1,719,767	20,637,205	8,594	103,127	-2,924,795
R5 年度 （～8 月）	7,850	39,250	1,824,593	9,122,964	8,741	43,706	-694,536
計 （44 カ月）	7,308	321,546	1,659,665	73,025,249	8,594	378,115	-13,368,751

・収支（令和 4 年度実績）

（収入（R4 実績） ＋ 委託料）－ 年間運行経費 ＝ 赤字額（埼玉観光負担）
 （ 20,637,205 ＋ 51,180,000 ）－ 74,742,000 ＝ -2,924,795

・輸送人員（R4 実績）：90,585 人/年

・平均客単価： 収 入 ÷ 輸送人員

20,637,205 円 ÷ 90,585 人 ＝ 228 円

●収支改善検討

・運賃改定により、黒字化を図る場合（輸送人員等の変動が無いと仮定した場合）

（収 入 ＋ 赤字額）÷ 輸送人員

（20,637,205 ＋ 2,924,795）÷ 90,585 人 ＝ 260 円

平均客単価との差は約 30 円の赤字となっており、収支改善が必要となっている。

（260 円 － 228 円 ＝ 32 円）

今後、収支改善に向けて検討いたします。